

Elevation of the vitreous body concentrations of oxidative stress-responsive apoptosis-inducing protein (ORAIP) in proliferative diabetic retinopathy

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-02 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 裕太 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032707

主論文の要旨

Elevation of the vitreous body concentrations of oxidative stress-responsive apoptosis-inducing protein (ORAIP) in proliferative diabetic retinopathy.

糖尿病網膜症における硝子体中酸化ストレス応答性アポトーシス誘導因子濃度の解析

東京女子医科大学 糖尿病・代謝内科学教室 (指導: 馬場園哲也教授)

鈴木 裕太

Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology

第 257 巻 第 7 号 1519 頁~1525 頁 (2019 年 7 月発行) に掲載

【要 旨】

糖尿病網膜症の進展には、虚血に伴う血管新生が重要な役割を果たしているが、虚血後再灌流時に生じる酸化ストレスの関与については明かにされていない。酸化ストレス応答性アポトーシス誘導因子 ORAIP は、酸化ストレスに応答して再灌流を受けた組織から分泌され、細胞にアポトーシスを誘導する新規生理活性因子として発見された。虚血再灌流・放射線等の種々の酸化ストレス刺激によって ORAIP の血中濃度は著明に上昇し、抗 ORAIP 中和抗体は生体内で心筋虚血再灌流障害を抑制することが報告されている。本研究は、糖尿病網膜症患者における硝子体中 ORAIP 濃度および、硝子体組織における ORAIP の発現と、網膜症の重症度との関連を明らかにすることを目的とした。硝子体手術を施行した糖尿病患者 39 症例 41 眼を、硝子体出血および牽引性網膜剥離に対し手術が施行された増殖糖尿病網膜症 (PDR) 群 30 眼、黄斑円孔および黄斑上膜に対し手術が施行された非増殖糖尿病網膜症 (NPDR) 群 11 眼の 2 群に分類し、それぞれの硝子体中 ORAIP 濃度を ELISA 法にて測定、組織発現は免疫染色によって確認した。PDR 群の硝子体中 ORAIP 濃度は NPDR 群より有意に高値 ($p=0.05$) であった。しかし PDR の重症度と ORAIP 濃度の間にはほとんど関連を認めなかった。硝子体組織における ORAIP の発現は PDR 群で有意に強い傾向が見られた。以上の結果から、硝子体中 ORAIP は組織障害に重要な役割を果たしている可能性があり、その中和抗体療法が期待される。